



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 大日本印刷株式会社
 コード番号 7912 URL <http://www.dnp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 北島 義俊
 (氏名) 神戸 好夫

TEL 03-5225-8220

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,088,291	△4.2	24,484	7.0	28,737	10.6	9,896	143.4
24年3月期第3四半期	1,135,977	△5.4	22,887	△58.5	25,991	△52.5	4,066	△84.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 12,861百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △7,480百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	15.37	15.33
24年3月期第3四半期	6.31	6.30

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,539,752		908,322			56.1
24年3月期	1,608,806		914,213			54.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 864,222百万円 24年3月期 871,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
25年3月期	—	16.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,520,000	0.8	38,000	11.7	39,000	5.9	12,000	—	18.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	700,480,693 株	24年3月期	700,480,693 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	56,476,077 株	24年3月期	56,417,765 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	644,039,918 株	24年3月期3Q	644,112,868 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場の動向などを前提として作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興需要がある一方で、欧州の財政危機や新興国の景気減速などにより、引き続き厳しい状況にありました。

印刷業界においても、需要の低迷に加え、競争激化による受注単価の下落などにより、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、DNPグループ（以下DNP）は、事業ビジョン「P&Iソリューション」に基づいて積極的な事業活動を展開し、顧客ニーズに対応した製品、サービス及びソリューションを提供するとともに、品質、コスト、納期など、あらゆる面で強い体質を持った生産体制を確立する「モノづくり21活動」に取り組みました。また、全体最適の視点に立って国内外の事業体制を再編するとともに、グローバルやソーシャルという視点での事業展開にも積極的に取り組み、業績確保に努めました。

これらの取り組みを推進するなかで、当第3四半期連結累計期間については、DNPの連結売上高は1兆882億円（前年同期比4.2%減）、連結営業利益は244億円（前年同期比7.0%増）、連結経常利益は287億円（前年同期比10.6%増）、連結四半期純利益は98億円（前年同期比143.4%増）となりました。

部門別の状況については、以下のとおりです。

【印刷事業】

・情報コミュニケーション部門

当部門では昨年10月に、商業印刷、ICカード、セキュリティソリューションなどを担当する3事業部を統合し、総合的なソリューションを創出していく体制としました。業務提携先の日本ユニシス株式会社とも、クラウド事業やプラットフォームサービス事業などの拡大に向けた具体的な取り組みを進めています。

出版印刷関連は、出版市場の低迷が続くなか、積極的な営業活動により書籍は増加したものの、雑誌が減少し、前年を下回りました。

商業印刷関連は、BPO（Business Process Outsourcing）サービスやPOPなどが増加したものの、チラシやパンフレットなどの印刷物が減少し、前年を下回りました。

ビジネスフォーム関連は、通信系や電子マネー向けのICカードなどが増加した一方、パーソナルメールなどのデータ入力から印刷・発送までの業務を行うIPS（Information Processing Services）などが減少し、前年を下回りました。

教育・出版流通事業は、書店市場の厳しい状況が続き、前年から減少しました。

その結果、部門全体の売上高は5,260億円（前年同期比0.8%減）、営業利益は113億円（前年同期比33.9%増）となりました。

・生活・産業部門

包装関連は、紙器やペットボトル用無菌充填システムなどが増加し、前年を上回りました。また、包装事業のさらなる競争力強化に向けて、昨年10月に国内の製造部門を1社に統合したほか、インドネシア工場の設備拡張や平成25年4月稼働開始予定のベトナム工場の建設を進めています。

住空間マテリアル関連は、DNP独自のEB（Electron Beam）コーティング技術を活かした環境配慮製品などが引き続き増加し、前年を上回りました。

産業資材関連は、リチウムイオン電池用ソフトパックや太陽電池用封止材などのエネルギー関連部材が増加しましたが、薄型ディスプレイ用反射防止フィルムなどが減少し、前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は3,950億円（前年同期比0.9%増）、営業利益は206億円（前年同期比13.2%減）となりました。

・エレクトロニクス部門

当部門では昨年6月に、ディスプレイ製品と電子デバイスの2つの事業部を統合して収益性の向上に努めるとともに、新製品の開発に注力しています。

液晶カラーフィルターは、スマートフォンやタブレット端末向けの中小型品が好調に推移したものの、大型液晶パネルの需要の減少や、昨年8月に堺工場のカラーフィルター事業を移管したことにより、前年を下回りました。

電子デバイス関連は、半導体市場の厳しい状況が続くなか、画質調整用LSIなどのモジュール製品が増加したものの、フォトマスクのほか、ハードディスク用サスペンションなどのエッチング製品が減少し、前年を下回りました。

その結果、部門全体の売上高は1,372億円（前年同期比23.2%減）、営業損失は19億円（前年同期は31億円の営業損失）となりました。

【清涼飲料事業】

・清涼飲料部門

個人消費が低調に推移し、販売競争が激化する厳しい状況のなかで、主力商品の「コカ・コーラ」「ジョージア」のほか、国内最軽量ボトル「e c oる ボトル しぼる」を使ったミネラルウォーター「い・ろ・は・す」の販売拡大に努めました。

その結果、ティー飲料、ミネラルウォーターは増加しましたが、炭酸飲料が減少し、部門全体の売上高は431億円（前年同期比1.2%減）、営業利益は6億円（前年同期比53.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産については、総資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ690億円減少し、1兆5,397億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ631億円減少し、6,314億円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ58億円減少し、9,083億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.2%から56.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績見通しにつきましては、平成24年11月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	217,518	174,975
受取手形及び売掛金	385,101	374,599
商品及び製品	91,912	92,247
仕掛品	39,356	33,655
原材料及び貯蔵品	19,850	20,612
その他	32,920	23,818
貸倒引当金	△3,703	△3,439
流動資産合計	782,956	716,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	213,514	194,633
機械装置及び運搬具（純額）	144,326	127,720
土地	142,149	155,147
建設仮勘定	35,410	26,939
その他（純額）	44,165	37,469
有形固定資産合計	579,566	541,910
無形固定資産		
その他	38,005	35,443
無形固定資産合計	38,005	35,443
投資その他の資産		
投資有価証券	136,703	170,304
その他	76,718	82,504
貸倒引当金	△6,034	△6,880
投資その他の資産合計	207,387	245,928
固定資産合計	824,959	823,282
繰延資産	889	—
資産合計	1,608,806	1,539,752

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	276,353	261,434
短期借入金	51,809	42,945
賞与引当金	15,019	5,863
その他	99,996	134,433
流動負債合計	443,179	444,677
固定負債		
社債	153,060	102,505
長期借入金	19,147	19,887
退職給付引当金	33,229	27,727
その他	45,976	36,633
固定負債合計	251,413	186,753
負債合計	694,593	631,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	114,464	114,464
資本剰余金	144,898	144,898
利益剰余金	723,459	712,738
自己株式	△94,172	△94,217
株主資本合計	888,649	877,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,370	6,732
繰延ヘッジ損益	△14	△19
為替換算調整勘定	△21,775	△20,374
その他の包括利益累計額合計	△17,420	△13,661
新株予約権	16	16
少数株主持分	42,967	44,083
純資産合計	914,213	908,322
負債純資産合計	1,608,806	1,539,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,135,977	1,088,291
売上原価	940,860	894,715
売上総利益	195,116	193,575
販売費及び一般管理費	172,228	169,090
営業利益	22,887	24,484
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,162	3,181
持分法による投資利益	564	2,872
その他	5,970	5,392
営業外収益合計	9,698	11,446
営業外費用		
支払利息	2,553	2,618
その他	4,040	4,575
営業外費用合計	6,593	7,194
経常利益	25,991	28,737
特別利益		
固定資産売却益	1,762	234
受取補償金	—	293
その他	149	121
特別利益合計	1,911	648
特別損失		
固定資産除売却損	3,707	3,157
投資有価証券評価損	2,664	3,073
その他	2,064	2,673
特別損失合計	8,436	8,904
税金等調整前四半期純利益	19,466	20,481
法人税、住民税及び事業税	10,330	10,201
法人税等調整額	4,502	796
法人税等合計	14,833	10,997
少数株主損益調整前四半期純利益	4,633	9,483
少数株主利益又は少数株主損失(△)	566	△413
四半期純利益	4,066	9,896

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,633	9,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,690	2,215
繰延ヘッジ損益	8	△4
為替換算調整勘定	△5,427	1,178
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△11
その他の包括利益合計	△12,113	3,378
四半期包括利益	△7,480	12,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,598	13,655
少数株主に係る四半期包括利益	118	△794

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	526,016	387,576	178,733	43,650	1,135,977	—	1,135,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,155	3,880	1	2	8,040	△8,040	—
計	530,172	391,457	178,734	43,652	1,144,017	△8,040	1,135,977
セグメント利益又は損失(△)	8,462	23,747	△3,173	1,420	30,457	△7,570	22,887

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報コミュニ ケーション	生活・産業	エレクトロ ニクス	清涼飲料	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	521,381	386,526	137,273	43,110	1,088,291	—	1,088,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,689	8,502	0	1	13,194	△13,194	—
計	526,070	395,028	137,274	43,112	1,101,485	△13,194	1,088,291
セグメント利益又は損失(△)	11,335	20,611	△1,941	654	30,659	△6,174	24,484

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、報告セグメントに帰属しない基礎研究並びに各セグメント共有の研究に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

以上